

MPP ATAデバイスからのPRTログの収集

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[背景説明](#)

[手順](#)

[関連情報](#)

はじめに

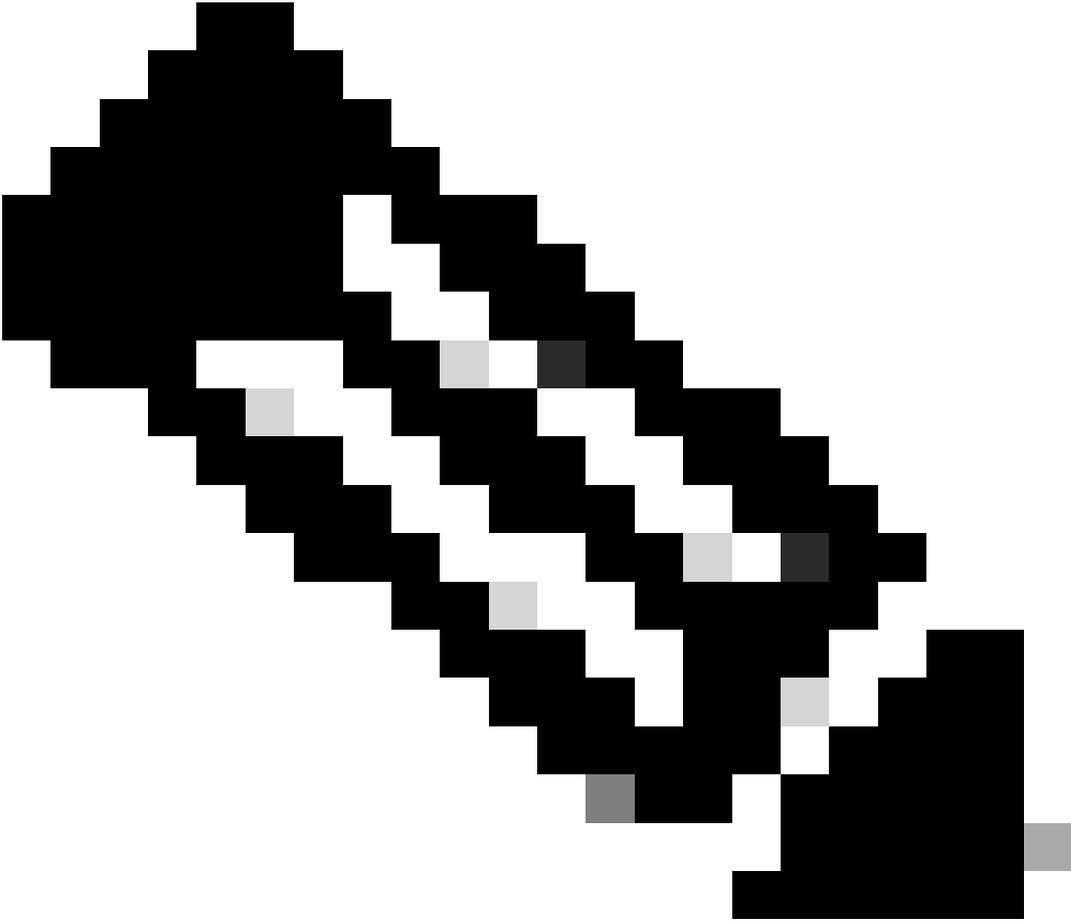
このドキュメントでは、Cisco MPP ATAデバイスにPRTログを配置するプロセスについて説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- コントロール・ハブ管理
- マルチプラットフォームデバイス(MPP)
- 管理者パスワードデバイス
- Cisco ATA Webページへのアクセス方法



注：Webex Calling(WxC)でプロビジョニングされたデバイスについては、WxCサポートからパスワードの入力を求められます。工場出荷時のリセットデバイスについては、パスワードはadminです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

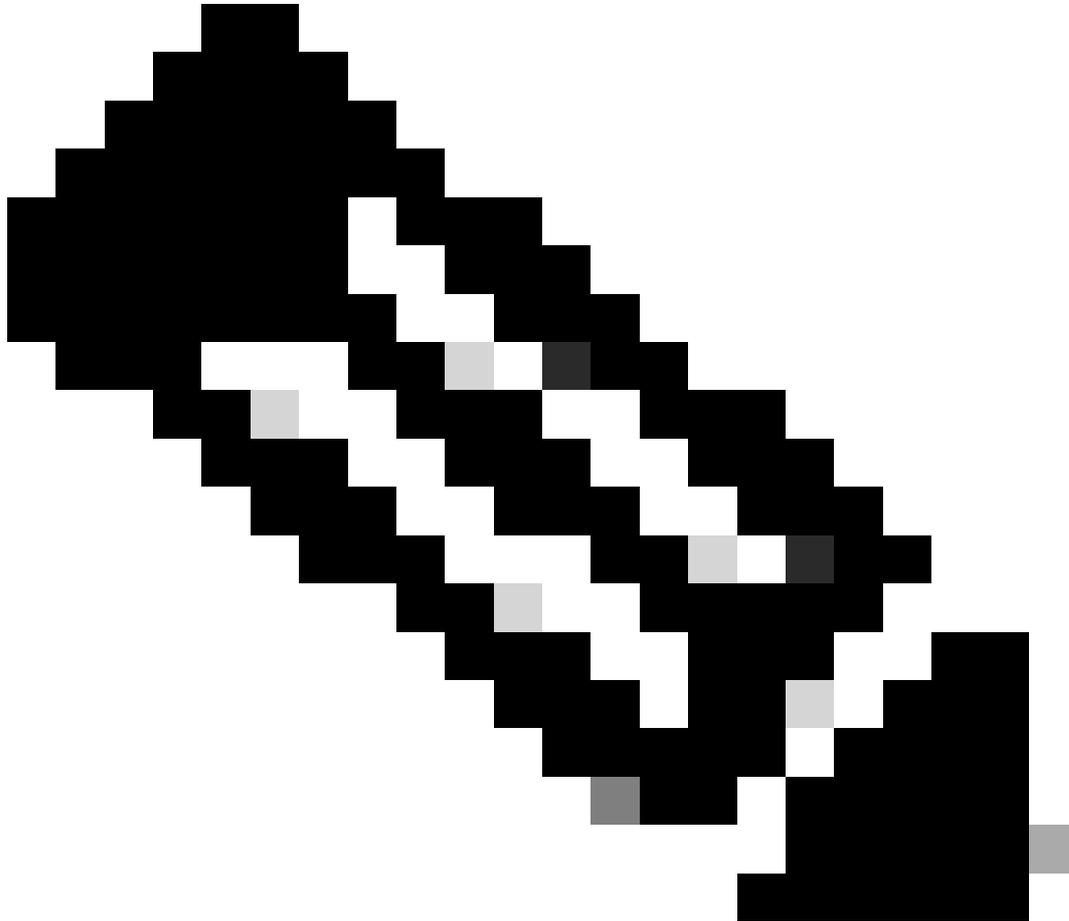
背景説明

問題レポートツール(PRT)ログは、シスコエンジニアが問題をトラブルシューティングするために役立つログおよびその他のファイルを含むファイルです。

Wjem Cisco ATA 191または192で、設定ファイルのダウンロードやWebex通話サービスへの登録に問題が発生しています。PRTログを分析すると、問題の原因を特定するのに役立ちます。

手順

ステップ 1 : https://IP_ADDRESS_ATA/ に移動します。



注:ATAのデフォルトIPアドレスは192.168.15.1です。

ステップ 2 : ログインページが開きます。このページには、ユーザ名adminとパスワードでログインできます。次にLog inボタンを選択します。



ログインページ

ステップ 3 : トップメニューでオプションAdministrationを選択します。



Phone Adapter Configuration Utility

Quick Setup

Network Setup

Voice

Administration

Status

トップメニュー

ステップ 4 : Logオプションを選択し、その下の左側のメニューでPRT Viewerを選択します。

▶ Management

▼ Log

Debug Log Module

Debug Log Setting

Debug Log Viewer

Event Log Setting

PRT Viewer

PCM Viewer

CSS Dump

Crash Dump

Factory Defaults

Firmware Upgrade

▶ Config Management

Reboot

左メニュー

ステップ 5 : Generate PRTオプションを選択して、新しいprt-log.tar.gzファイルを作成します。

PRT Viewer

PRT Setting

PRT Upload URL:

PRT Upload Method:

PRT Max Timer: Minutes (Disabled:0, Range: 15 ~ 1440)

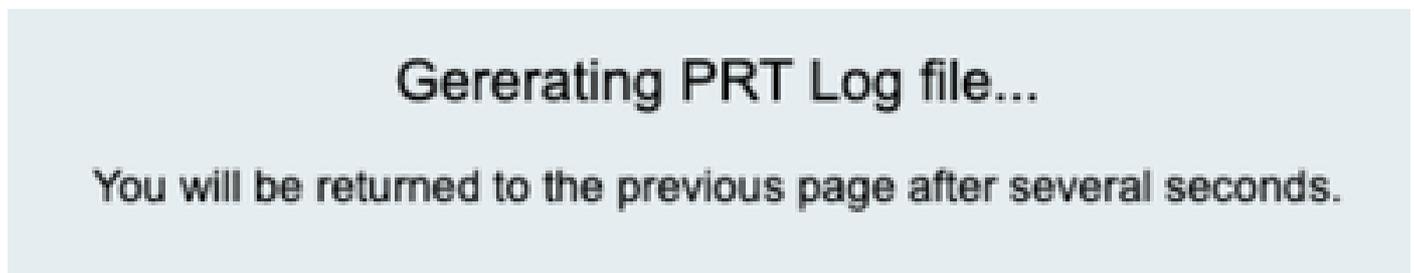
PRT Name: prt- .tar.gz

PRT File List

prt-log.tar.gz

PRTの生成

手順 6 : PRTログが作成されたことを確認する新しい画面が表示されます。



PRTの生成

手順 7 : 新しいprt-log.tar.gzファイルが出力されます。

PRT Viewer

PRT Setting

PRT Upload URL:

PRT Upload Method:

PRT Max Timer: Minutes (Disabled:0, Range: 15 - 1440)

PRT Name: .tar.gz

PRT File List

[prt-log.tar.gz](#)

新しいPRTファイル

ステップ 8 : リンクprt-log.tar.gzを右クリックし、Save link as...を選択して、ログをダウンロードします。

関連情報

- [Cisco ATA 191および192の導入](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。